

区議会レポート

102号

2024年2月2日発行



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

本号の内容

表面：第1回臨時会報告など
裏面：能登半島地震関連など

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

令和6年区議会第1回臨時議会開催

■第6次一般会計補正予算 15億5,864万円議決
◆1月11日(火)に令和6年第一回臨時議会が開催されました。
◆国のデフレ脱却のための総合経済対策に基づく、低所得世帯への現金給付経費など第6次一般会計補正予算 15億5,864万円が議決されました。2月下旬以降の口座振込み予定とされています。

令和6年区議会第1回定例会開会へ

◆来る2月15日(木)から令和6年第一回定例会が開会します。
◆それに先立ち2月6日の議会運営委員会に令和6年度当初予算案が示され、定例会開会后設置される予算審査特別委員会で審査されます。◆予算審査の中で災害対策の強化や、文化振興、児童保育待機児童対策などの子育て支援など一般質問などでこれまで議論してきたことについて確認し、取組みを進めてまいります。

区政トピックス

■学校施設断熱改修ワークショップ実施



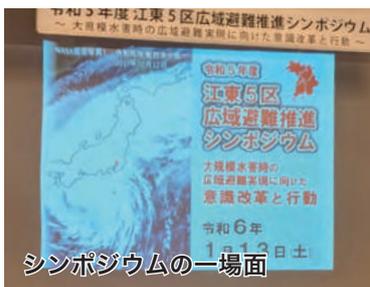
断熱材を天井に施工する生徒

◆1月11日(木)に青葉中学校で断熱改修ワークショップが行われました。◆地球温暖化対策のため、公共施設の脱炭素、省エネの取組みとして実施され、昨年度の清和小学校に続いて2校目の取組みとなります。◆ワークショップには

は理科部の生徒が参加し、断熱の基礎の座学の後、実際に断熱材を天井へ取付けを行いました。◆対象の教室では既に二重窓への改修が実施されており、今後、断熱改修が施された教室と、未改修の教室の温度変化の比較がされ、断熱改修の成果が実証されれば、順次校舎の改修が進められることとなります。

■江東五区広域避難推進シンポジウム開催

◆1月13日(土)は「江東5区広域避難推進シンポジウム」がシンフォニーヒルズで開催されました。◆講師の片田敏孝教授の講演の後、専門家や区を交えてシンポジウムが行われました。◆近年、大規模水害や能登半島地震のように千年に一度と言われるような想定を超えた災害が続き、行政だけ



シンポジウムの一場面

で全て対応できる考えは改める必要があると語られました。◆江東五区での大規模水害においては、対象範囲や人口の規模が膨大で広域避難の具体策を未だ示すことができていませんが、現時点ではこの地域の危機的状況を周知し、住民の意識を高め、避難するための支援体制をできる限り整備することが行政の役割となる旨の話がされました。◆災害への対応は行政や人任せでなく、個々の住民が知識を持ち、行動をすることが重要であることと、そのための環境整備を進める必要性が確認できました。

■「ペットと避難所」学習会開催

◆去る1月27日(土)に健康プラザで「ペットと災害」と題して、災害時のペットの避難についての学習会が開かれました。◆講師の東京都獣医師会の平井潤子さんから災害時のペット避難は動物愛護のみでなく、人支援として考える必要があるとの話がされました。◆災害時はペットと離れられず避難をしない高齢者なども見られ、そのような方々の命を守るためにペット避難の検討をする必要があるとのこと。◆後半では避難所運営ゲーム HUG のペット避難バージョンが行われ、ペット避難について具体的な事例を元に話し合われました。◆飼い主側の平時からの準備と、避難所側の体制整備について、それぞれ考える機会を持つ必要性を感じました。



避難所運営ゲーム
に取り組む参加者

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動は Facebook かわごえ誠一 をご覧ください。



令和6年能登半島地震関連

◆令和6年1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方に哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまへ心からお見舞いを申し上げます。◆まだ困難な状況が続いていますが、一日も早い復旧復興をお祈りしています。◆ここでは現時点での葛飾区としての被災地支援についてお知らせいたします。

■令和6年能登半島地震義援金受付け

◆葛飾区では義援金の受付けを開始しました。下記窓口で受け付けています（現金のみ）。

◎区役所2階区民ホール総合案内・新館5階504総務課・各区民事務所・区民サービスコーナー窓口など

■職員派遣

◆避難所における被災者への健康観察などへの支援として、保健師5名・事務職1名を派遣。

◆リモートによる被災地の建物の応急危険度判定のため建築職2名を東京都に派遣。

■能登地震避難者への区営住宅の提供

◆区内へ避難を希望する方へ区営住宅を提供します。右QRコードをご参照下さい。→



◆能登半島で起きたことは他人事ではありません。◆葛飾区ではこれまで首都直下地震に備え、木造密集地域の解消や、避難所の充実などの取組みが進められてきました。◆現時点での区の災害対策について、区のホームページのサイトを紹介します。◆それぞれQRコードからご確認ください。

■「地震に備えて」のwebページ→

・避難方法（震災）・避難所・防災マップ
・情報の収集方法・防災学習・防災訓練など



■「地震への家庭での備え」のwebページ→

・備蓄品の確認・感震ブレーカー設置補助・家具転倒防止器具取付支援・乳幼児・妊産婦など



■「住まいの耐震化」のwebページ→

・木造住宅の耐震診断・耐震シェルター助成
・液状化対策・ブロック塀撤去への助成など



■区の防災YouTube動画のwebページ→

◆葛飾区の防災への取り組みをYouTubeで公開しています。



◆今後、更なる防災・災害対策の充実を進めてまいります。

タウンミーティング 2024

主催：かつしか区民連合

葛飾区議会議員

かわごえ誠一 学習会のお知らせ

手話通訳あり

※事前に下記メールへご一報いただけますと幸いです。

テーマ：ヤングケアラーの現実を知る

参加費無料
定員先着70名

～背景を知ることから始まるヤングケアラーの支援～

と き：2024年2月17日（土）14:00～16:00 開場13:45

と ころ：かつしかシンフォニーヒルズ別館5階 レインボー 葛飾区立石 6-33-1

■上映とフィルムトーク 短編映画「陽菜のせかい」から

ヤングケアラーの心に触れる

～映画からヤングケアラーの日常と心の揺れを学ぶ～

※短編映画（約17分）の上映と解説・フィルムトーク

講師：持田恭子さん（一社）ケアラーアクションネットワーク代表理事

■葛飾区のヤングケアラー支援について～各現場からの報告と意見交換～

報告：葛飾区子育て支援部・葛飾区教育委員会総合教育センター・支援団体などを予定

◎直接会場にお越し下さい。◎発熱や咳など体調のすぐれない方は参加を見合わせていただけますようお願いいたします。

◆ヤングケアラーという言葉は社会に知られるようになりました。◆しかし、ヤングケアラーとされる子どもや若者の実態については中々伝わる感じができません。◆今回は思春期のきょうだい児の日常を描いた短編映画「陽菜のせかい」の上映＆フィルムトークと、区のヤングケアラー支援の報告を企画しました。◆ふるってご参加下さい。



講師：持田恭子さん
プロフィール

◆1966年東京都生まれ・東京都在住。◆小学生の頃から現在に至るまで家族のケアを続けるケアラー。◆外資系企業管理職を経てケアラーの課題と向き合い、2013年に「ケアラーアクションネットワーク」を設立。2019年に法人化し代表理事に就任。◆厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業構成委員、東京都福祉保健局ヤングケアラー支援対策委員会委員など歴任。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆ ●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住34年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTAなどの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会所属：危機管理対策特別委員会副委員長・保健福祉委員会委員・議会運営委員会委員など